



Short Break

IC-705 にヘッドセットとフットスイッチを接続

月刊 FB NEWS 3月15日公開号の Short Break にパソコン用ヘッドセットを IC-705 に接続するインターフェース製作記事を紹介しました。完成したインターフェースユニットとパソコン用のヘッドセットを IC-705 で実運用すると意外と便利なスグレモノであることに気付き、大手ネット通販サイトで少し高価なヘッドセットを購入してしまいました。



便利とはいえ PTT はどうしても指で押すことになるので「フットスイッチを取り付けて完全ハンズフリーにしておこう」と思い立ったのが今回の製作記事です。PTT スイッチは足で押しますから両手が空きます。完全ハンズフリーです。無線機の前で腕を組みながら、椅子に反り返り、ゆったりとした気分で QSO が行えます。

図 1 実体接続図

フットスイッチ

大阪日本橋のパーツショップに置いてあったフットスイッチです。フットスイッチから三本のケーブルが出ています。今回は、フットスイッチを踏み込んだ時に接続されるケーブルに ϕ 6.5mm のモノラルプラグを接続しました。(図 2)

本来ならこの ϕ 6.5mm のプラグを前号で製作したインターフェースユニットに直接接続できればベストですが、インターフェースユニットには ϕ 6.5mm のジャックはサイズが大きすぎて取り付けられません。仕方なく ϕ 3.5mm のジャックを取付け、 ϕ 6.5mm と ϕ 3.5mm のプラグ間を接続する変換ケーブルを製作しました。

接続回路は特に難しいところはありません。先に取り付けた PTT スイッチと並列にフットスイッチを接続するだけです。その配線図を図 3 に示します。フットスイッチは配線図では、SW2 の部品番号を付けています。

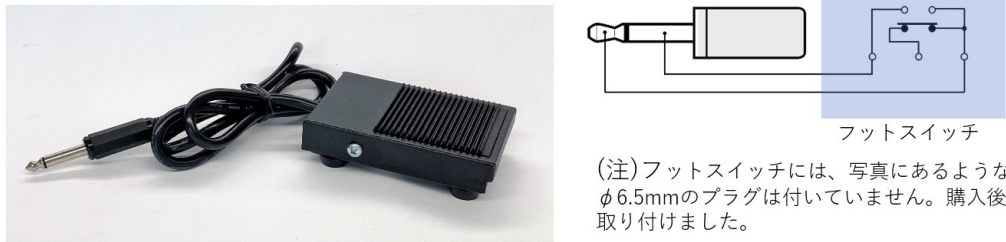


図 2 フットスイッチにφ6.5mmのプラグを取り付け

配線図

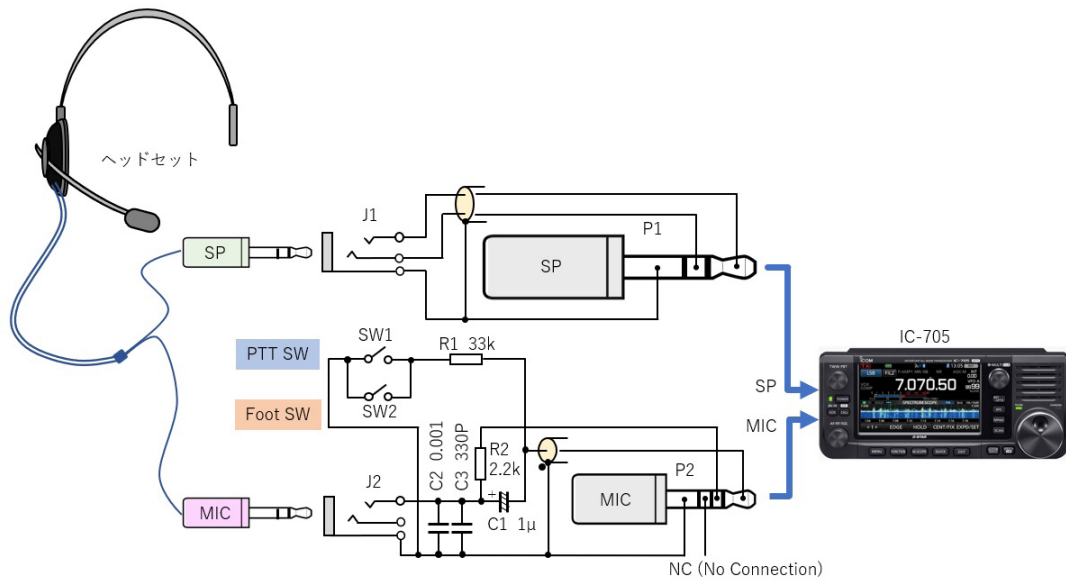


図 3 フットスイッチも加えた配線図

インターフェースユニットの内部

PTT スイッチとフットスイッチを内部で並列接続するため、基板上にコネクタを設け、そのコネクタで接続するようにしています。

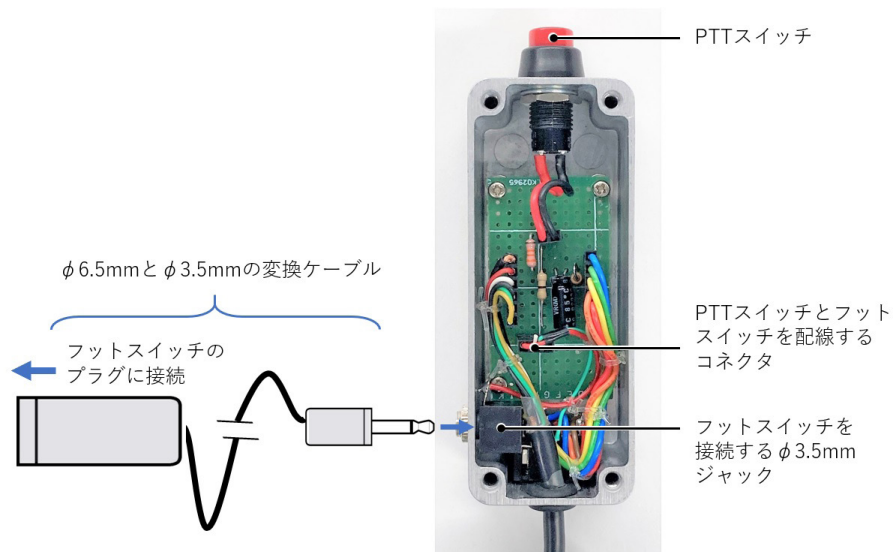


図 4 インターフェースユニットの内部

■ 使用感

月刊 FB NEWS 3月 15 日号で紹介したヘッドセットはネットで 1,000 円も出せばおつりがくるくらいのもので、今回、図 1 で紹介したものは、その 2 倍以上の価格です。前者は軽くヘッドホンもオープンヘッドホンです。頭が締め付けられている感じはありません。後者は、丈夫でしっかりしています。ヘッドホン部は耳にピッタリ挟まりますので、QSO に集中できる感じです。コンテストにはもってこいのオプションです。どちらも送信音のレポートを QSO の相手局からもらったところ何らそんな色はありませんでした。

今回購入したフットスイッチについて、「コンテストの鬼」にその評価を聞くと、「フットスイッチのバネがちょっと硬いな」との感想でした。内部を見たところ、バネを 2～3 ターン切れれば、希望の硬さになるかも知れません。

CL